

「特許ストーリー」

チェッカー版
typePRO

特許明細書チェックソフトのご案内

Word add-in 式 FREE ダイヤル 0120-51-9171

【注意】動作の支障となる場合があるため、弊社Wordアドインと他のマクロは併用しないことをお勧め致します。

明細書+請求項36条違反等チェック

1. チェック開始は「一括実行」をクリックします。 → (ページには、【書類名】特許請求の範囲、【書類名】明細書の表記が必要)

① クリック

2. いくつか”確認画面”が表示されますので、”OK”や”実行”をクリックして進みます。

3. 請求項チェック

赤色ハイライトと共に警告メッセージを表示するのでクリックして確認します!

請求項	警告メッセージ
5	請求項内記載「前記オペレータ」の「オペレータ」が、該請求項および上位請求項1内に記載されていません。
6	請求項6に従属することはできません。
6	引用されている請求項が括一的に記載されていません。 「請求項1から6」
6	引用項の後に記載の「タッチパネル用入力装置」が、引用先請求項1、2、3、4、5のカテゴリ「タッチパネル用入力補助装置」と一致しません。
6	請求項内に句点(.)が含まれていません。

抽出語句の設定 再表示 閉じる

抽出語句から除外する語、
語句として認識する語、
数量単位や化学記号を
自由に設定できます

抽出語句から除外する語

使用	語句から除外する語	この語を除外する条件
☒	又	語句がこの語で終わる場合
☒	及	語句がこの語で終わる場合
☒	乃至	語句がこの語が含まれている場合
☒	一項	語句がこの語と一致する場合

追加 削除

語句として認識する語

英字略語の抽出 追加 削除

認識を行う数量単位・化学記号

数量単位

数量単位の抽出 追加 削除

化学記号

追加 削除

OK キャンセル

⑥請求項の従属関係
チェックをします。

請求項内の語句の抽出結果を表示します。

⑦請求項を元に、実施形態内の各段落との
合致チェック(36条違反チェック)をします。

Word上で修正しながら
「再表示」をクリックして
再チェックを行います。

請求項5内の語句(下段に表示された語句)を元に、
実施形態内の各段落での出現率を見ると、7番目の
段落が高い事がわかりますので、本文を確認します。

⑧請求項内語句チェック
をします。

黄ハイライトは、7番目
の段落内にはない語句を
表示しています。

Word上で修正しながら
「再表示」をクリックして
再チェックを行います。

請求項語句で実施形態に出現の無い語句
を赤色ハイライトするので、右クリックして、
請求項を確認し、サポート等確認します！

Word上で修正しながら
「再表示」をクリックして
再チェックを行います。

チェック結果

請求項ツリー 従属 合致 請求項内語句 符号名称 誤記ゆらぎ 連続文字 数量単位

↓独立項の選択

【請求項1】 【請求項1】を開く

フリック入力に対応した電子機器のタッチパネルに着脱自在に装着されるタッチパ
ネル用入力補助装置であって、前記タッチパネルに表示される入力キーに個別に対応する複数の弾性復元力を有す
るキートップが設けられたキートップシートを備え、前記キートップシートに装着された状態で、前記キートップ
により、前記入力キーに作用する導電体が、前記タッチパネルに接触する方向と

【請求項1】内の語句:
フリック入力 対応 電子機器 タッチパネル 着脱自在 装着 タッチパネル用入力補助装置 表示
入力キー 個別 複数の弾性復元力 キートップ キートップシート 状態 作用 導電体 接触
方向 フリック入力操作 許容 範囲 沿 誘導

↑上位請求項の選択 ↓従属項の選択

【請求項5】 【請求項5】を開く

前記キートップシートのすべてのキートップに、前記タッチパネルの入力キーに接触するのを許容し得る開口部が形成され、これを特徴とする請
求項1に記載のタッチパネル用入力補助装置。

【請求項5】内の語句:
キートップシート キートップ タッチパネル 入力キー 接触 許容 得 開口部
形成 タッチパネル用入力補助装置

↑上位請求項の選択 ↓従属項の選択

【請求項6】 【請求項6】を開く

前記キートップシートと前記タッチパネルに(隠し文字)介装される下部カバー
シートを備え、
該下部カバーシートには、前記タッチパネルの入力キーに個別に対応する開口部が
設けられ、これら各開口部は、それぞれ前記導電体の誘導範囲を規制する大きさとな
ることを特徴とする請求項1から記載のタッチパネル用入力装置

【請求項6】内の語句:
キートップシート タッチパネル 隠し文字 介装 下部カバーシート 入力キー 個別 対応 開口部
導電体 誘導範囲 規制 太 タッチパネル用入力装置

赤色 従属チェックの警告項目 黄色 上位請求項にない語句

抽出語句の設定 再表示 閉じる

チェック結果

請求項ツリー 従属 合致 請求項内語句 符号名称 誤記ゆらぎ 連続文字 数量単位 全語句

解決手段 実施形態

実施形態と請求項との合致率

【請求項5】 選択した請求項を開く

段落	実施形態の内容	合致率	段落の 結合
1	以下、本発明の実施形態について、図面を参照して説明する。...	17%	☐
2	(第一実施形態)	0%	☐
3	まず、第一実施形態について、図1から図7までを参照して説明...	0%	☐
4	図1は、本発明に係るタッチパネル用入力補助装置1の分解斜...	33%	☐
5	一構成	0%	☐
6	本発明に係るタッチパネル用入力補助装置1は、キートップシ...	33%	☐
7	キートップシート2は絶縁性と柔軟性を備えた、例えば、合成...	50%	☐
8	スピンドル3は、透明で人体と同じ導電率を備えた樹脂からなり...	17%	☐
9	一構成において、前記凹部は、前記刃体を貫通する丸孔形...	8%	☐
10	下部カバーシート4は、絶縁性を備えた硬質プラスチックのシート...	33%	☐
11	上部カバーシートは、硬質プラスチックのシートであって、タッチパ...	42%	☐
12	一組み立て方法	0%	☐
13	まず、図1に示すように、スピンドル3の挿入部をキートップの開...	17%	☐
14	次に、キートップシート2の上に上部カバーシートを、キートップが...	25%	☐
15	最後に、キートップシート2の下に下部カバーシート4を、キートッ...	25%	☐
16	上記構成において、前記凹部は、前記刃体を貫通する丸孔形...	8%	☐

再チェック 選択した段落を表示

【請求項5】内の語句 (対象段落内にはない語句はハイライト表示されます)

キートップシート キートップ タッチパネル 入力キー 接触 許容 得 開口部
形成 タッチパネル用入力補助装置

抽出語句の設定 <<前 次 再表示 閉じる

チェック結果

請求項ツリー 従属 合致 請求項内語句 符号名称 誤記ゆらぎ 連続文字 数量単位 全語句

対象: 実施形態 表示順: 先頭文字順

語句	数量	化学記号
沿	1	
状態	19	
着脱自在	0	
範囲	2	
蛇腹状	0	
表示	4	
装着	5	
複数の弾性復元力	0	
規制	1	
許容	1	
誘導	4	
誘導範囲	1	
透明	5	
重量	0	
開口部	11	
隠	0	
電子機器	7	

抽出語句の設定 表示リストのCSV出力 再表示 閉じる

4. 符号名称チェック。

⑨ クリック

黄ハイライトの符号は、右クリックで全ての箇所を表示するのでチェックします。

赤文字: 符号の重複
青文字: 名称の重複

抽出語句の設定 表示リストのCSV出力 再表示 閉じる

【0036】

また、本発明に係るタッチパネル用入力補助装置1は、下部カバースHEET4とキートップシート2と上部カバースHEET5とが積層されたシート状装置であるため、薄型であることが魅力とされる電子機器に取り付けた場合であっても、その魅力を損なう虞がない。

【0037】

また、本発明に係るタッチパネル用入力補助装置1は、下部カバースHEET4とキートップシート2と上部カバースHEET5とを備えた簡素な装置であるため、安価に製造することができる。

誤記と思われる箇所は、色を変えてハイライトしますのでチェックします。

5. 全文に対し誤記等チェック。

⑩ クリック

クリック

表示対象
☒ 不一致箇所の絞り込み
☐ 先頭不一致
☒ 中間不一致
☐ 末尾不一致
☐ 対象語句列の上下が類似している語句
☐ 対象語句列の文字数
☐ 対象語句列の文字数の差
☐ 漢字・カタカナのみの語句
☐ 漢字のみの語句
☐ 英数字・記号部分の不一致を無視する

対象語句 類似語句

拡大平面図 拡大断面図
 拡大断面図 拡大平面図
 検出試料 検出資料
 検出資料 検出試料

※30文字を超える語句は、誤記・ゆらぎチェックを行いません。

【0043】

の実施形態では、指200でキートップ21を直接押して弾性復元によって入力操作を行うが、検出試料として指200でキートップ21を押す動作を利用することができ、図1に示すように、キートップ21が弾性変形してキートップ21表面がタッチパネル101表面に押し付けられ、キートップ21に設けられた開口部22を通して指200の先端が開口部22から露出する。

翻訳ミスに繋がりそうな誤記を抽出するのでクリックしてチェックします！

⑪ クリック

連続文字

かか
 ここ
 タッチパネルを片手操作したタッチパネルを片手操作した
 とと
 まま
 直接接触

コピペミス等による連続箇所をチェックします！

⑫ クリック

数量単位 本文中の表記

20mm 20mmほど面取りされている構成を採用できる。
 25mm 25mmほど面取りされているため、段階的にコンパクト...
 30mm 30mmほど面取りされている構成を採用できる。
 20nm 20nmほど面取りされているため、段階的にブレーキを...
 4全体 4全体をシリコンで形成し、タッチパネルに吸着させても...
 101表面 101表面に設けられている開口部22を通して指200の先端が開口部22から露出する。

青→黄→青...に色分けして、数値の後ろを認識してリストアップするので、色が交互に変わった箇所をチェックします。

6. 書式チェック(Word特有の「隠し文字」や「フィールドコード」等の消し忘れも警告します)

(上段2. の書式チェックを「実行」した場合、下記のチェック結果が表示されます)

一括チェック結果

警告メッセージがあります。以下の内容を確認してください。

出力対象	書類名	項目	メッセージ
☒	(全文)	Word書式	この文書内に隠し文字が含まれています。確認してください。
☒	(全文)	Word書式	この文書内にフィールドが含まれています。確認してください。
☒	(全文)	Word書式	この文書内にコメントが含まれています。確認してください。
☒	(全文)	Word書式	この文書内にWord形式の表が含まれています。確認してください。
☒	明細書	【発明の名称】	項目【発明の名称】が記載されていません。
☒	明細書	【0022】	【0022】の順序が正しくありません。(以降の順序チェックは中断されました。)
☒	明細書	【発明を実施するための形態】	特許庁規定外文字が入力されています。(「mm」「L」「Σ」)
☒	明細書	(文書内)	文章が句点「。」で終わっていません。
☒	請求の範囲	(文書内)	文章が句点「。」で終わっていません。
☒	要約書	【要約】	要約書は、200~400文字の範囲で作成してください。(180文字:半角文字は0.5文字として計算)
☒	図面	【図3】	【図面の簡単な説明】に説明が記載されていません。
☒	明細書	【表1】	この番号に該当する図表イメージが識別できません。
☒	明細書	符号「4」	符号「4」が複数の名称に対して使用されています。(「下部カバースHEET」「上部カバースHEET」)

全選択 全解除 警告メッセージ一覧の出力 閉じる

それぞれのメッセージを確認し、クリックしてチェックします。

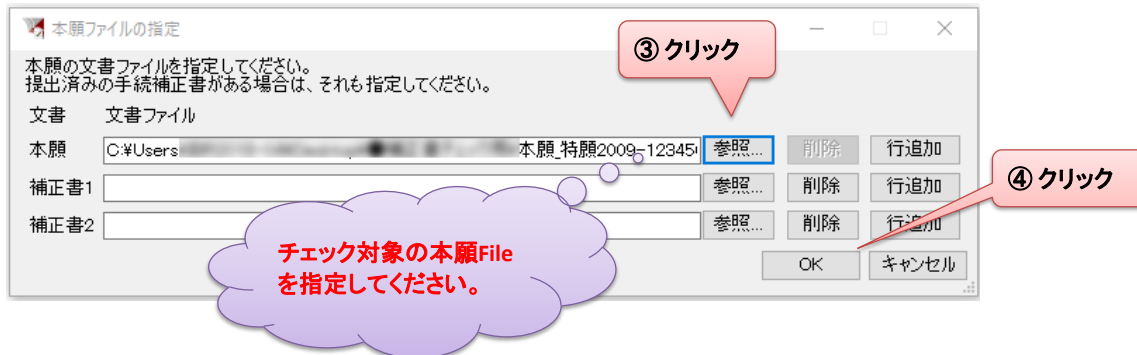
補正書チェック

1. Wordで作成した手続補正書を開きます。 → (Wordで作成した本願もご用意ください)

2. チェック開始は「補正書」をクリックします。



3. Wordで作成した本願のfileを指定し、「OK」をクリックします。



4. 手続補正書と本願を比較した結果をコメントで表示します。

